2016,12,3　　自然探訪・歴史探訪　　**小女郎峠・蓬莱山(1174m)・小女郎池(1060m)記録**

暖かいお天気に恵まれ、小女郎谷から蓬莱山の自然・歴史・眺望を楽しみました。素晴らしい青空・澄みきった空気・素晴らしい眺望・・・この時期のナメコ収穫体験などたっぷり楽しみました。「良いね」「とても贅沢な気分ね」・・山頂では、「こんなに良いお天気、下りるの勿体ないね・・」などワイワイガヤガヤ・・・360 度の眺望をゆっくり楽しみました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史①/蓬莱山　蓬莱山を含む比良山地一帯は琵琶湖国定公園に指定されている。山頂には一等三角点「比良ヶ岳」が設置され 1173.94m となっている[]。比良山地は古生層へ貫入した花崗岩からなる。蓬莱とは元来中国の伝説で仙人が住む東海にある霊山であり、比良山地も修験者の霊山であったことに由来するとされる[1]。

◆歴史②/比良　滋賀県大津市、JR蓬莱駅近くの天川から以北、高島市鵜川近辺までの比良山麗一帯を指す古い呼称をいう。古代海族とされる比良一族の居住地としてひらかれ、平安時代に隆盛となり、比良三千坊と称する寺院群があったという。古来、比良の湊がおかれ、北陸地方との交易を中心に水運にも従事。中世には比良八庄とよばれ、小松荘と木戸荘がその中心であった。1280 年の「比良荘絵図」(※上記、画像:北比良区蔵)は有名である。この地を南北に西近江路が開通、1926 年に江若鉄道が開通したが、現在では湖西道路、国道 161 号、JR湖西線にかわっている。

◆歴史③/ 小女郎峠　①ボーリンブ調査　深さ 1,28m を境に、これより浅い所では泥炭層が、これより深い所では磯層となり、この磯層と泥炭層の間に火山灰が挟まれている。この火山灰は、約 6300 年前に噴火したものが堆積したアカホヤ火山灰と考えられている。②地元の人からは「雨乞い池」と崇められている。③有名な悲哀伝説が語りつがれている。昔ふもとの南船路の里に、久右衛門とお孝という夫婦がいた。ある日お孝は池のあたりへ薪をとりに来ていると、美しい青年(実は池の主、大蛇の化身)に会った。以来夜になると、池に通うようになったお孝の行動に不審を持った久右衛門が、ある夜あとをつけ、お孝が池に入るのを見て驚いた。気付いたお孝は、お詫びの印として左目をくりとって夫に渡し「赤ん坊が乳を欲しがったら、これをしゃぶらせて欲しい」と言い残して池に入っていった。孝女郎が入った池だから孝女郎池、それがいつしか小女郎池になったと言われている。

◆トレッキングの様子

薬師滝へ

気持ち良い・・・

ふりかえり眺望を楽しみながら

石仏があちこちいらっしゃる

蓬莱山山頂にて

一等三角点

下山

小女郎池

なめこ収穫体験